

項目

整備計画目標

工事の実施に関する事項

維持管理に関する事項

洪水による災害の防止又は軽減

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

河川環境の整備と保全

**【戦後最大規模の洪水を安全に流下させるための対応】**  
 阿賀川の洪水氾濫から沿川地域を防護するため、戦後最大洪水に相当する規模の洪水を計画高水位(H.W.L.)以下で安全に流下させる。

**【堤防の安全性の確保】**  
 堤防の浸透に対する安全性及び河岸浸食・河床洗掘による危険箇所の対策を実施し、堤防及び河岸の安全性を確保する。

**【減災への取り組み】**  
 水害時の被害軽減のため、防災拠点の整備、防災情報の高度化・提供、洪水ハザードマップ作成の支援、水防活動支援等のソフト面での対策を地域と連携して進める

**【流水の正常な機能の維持】**  
 阿賀川の流水の正常な機能を維持するための水量について調査検討を進めるとともに、渇水時においてその水量が確保されるよう、関係機関の合理的な水利用の促進、大川ダムの効果的な運用を図る。

**【良好な水質の維持及び改善】**  
 阿賀川、日橋川、新湯川の水利用及び河川利用の現状を踏まえ、当面の目標を環境基準とし、引き続き継続的な水質モニタリングを実施し、関係機関との連携により、良好な水質の維持に努める。

**【「阿賀川らしさ」を形成している河川環境の保全と再生】**  
 生物の多様な生息・生育環境を形成する阿賀川らしい自然環境及び自然景観の保全、再生を行う。

**【河川空間の利活用、連携・協働による川づくり、河川管理の促進】**  
 地域住民や自治体、NPOなどと連携し、地域の文化・歴史と一体となった川づくり、河川空間の利活用・河川環境保護活動を推進し、住民参加型の河川管理を促進する。

【阿賀川の維持管理に関する目標】  
 効果的かつ効率的な維持管理を実施し、堤防や樋門等の河川管理施設、河道及び河川空間が本来もっている機能を十分発揮できるように良好な状態を継続させる。

- ① 下流狭窄部改修(長井地区)
- ② 弱小堤対策(堤防の完成化)
- ③ 湯川洗堰改築
- ④ 支川合流点処理

- ⑤ 堤防の質的整備
- ⑥ 水衝部対策

- ⑦ 防災拠点の整備

- ⑧ 多自然川づくりの実施
- ⑨ 自然再生事業の推進
- ⑩ 工事による環境への影響軽減

- ⑪ 地域の文化・歴史と一体となった川づくり  
 ・かわまちづくり支援事業の推進  
 ・地域の交流拠点整備の支援

- ⑫ 河道の維持管理  
 ・樹木管理  
 ・河道堆積土砂の除去
- ⑬ 河川の巡視・点検、調査
- ⑭ 河川管理施設等の点検・維持管理

- ⑮ 防災情報の高度化・提供
- ⑯ 洪水ハザードマップ作成支援
- ⑰ 水防活動支援の継続  
 (水防訓練、排水ポンプ車対応)

- ⑱ 流況等のモニタリング  
 (河川環境保全のための必要な流量の調査検討等)
- ⑲ 関係水利使用者との渇水調整
- ⑳ 大川ダムによる渇水補給

- ㉑ 水質調査の継続実施等
- ㉒ 水質事故時の対応
- ㉓ 湯川等における水質改善

㉔ 環境モニタリング

- ㉕ 地域との連携・協働による河川管理  
 ・市民団体との連携・支援・育成  
 ・小学校等の環境学習との連携  
 ・イベントや環境学習を通じた情報発信  
 ・ボランティアサポートプログラム等の活用

㉖ サイクル型維持管理の実施